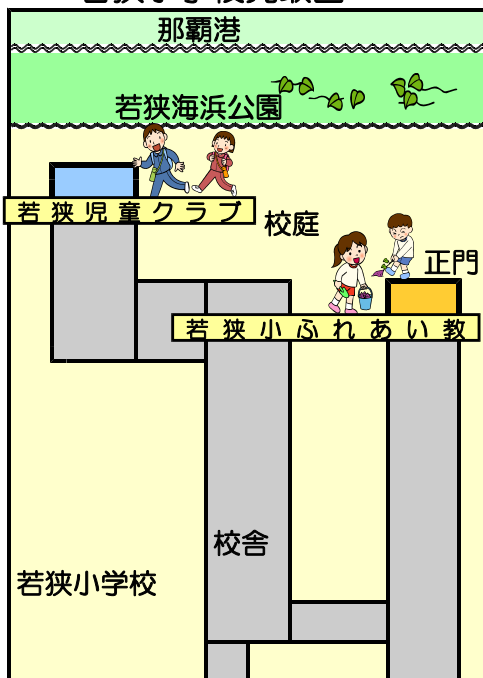


活動内容・特色

若狭小学校見取図



若狭児童クラブ



【若狭児童クラブの指導員の話】

子どもたちは、学校が終わって帰ってくると、時にイライラしていたりすることがあります。そのような時は、そっと離れて見ていて、好きなことを始めるまでいろいろと指示したりすることはしないようにしています。だんだん落ち着いて来ると、子どもの方から遊びを求めてくるので、相手になってあげるようにしています。なるべく、指示命令みたいなことはしないよう「自発的な遊び」を大切にしています。



おやつの時間

おやつは、隣の保育園に依頼して届けていただくようにしています。手作りおやつもあり、みんな楽しみにしています。おやつ時間は上級生がみんなを上手にまとめ、行儀良くいただくようにしています。

若狭児童クラブの行事

平日は、若狭小ふれあい教室の事業にも参加できるので、子どもたちにとっては、プログラムも豊富です。夏休みには、野外レクリエーション・花火などの宿泊学習や、公民館でのおひげ屋敷見学・ソーメン流し・スイミングなどお楽しみがいっぱいです。



コーディネーターの役割 若狭児童クラブを立ち上げた、隣の保育園長先生がその役割を担っています。放課後校舎を西に東にと行き来し、時に落ち葉を掃いたり、花壇の手入れをしたりと熱心に活動をされています。学校やPTA、地域団体と連絡を密にして、各行事への子どもたちの参加をやすく調整したり、経費の工面・担当者の配置など様々な仕事に奔走の毎日です。



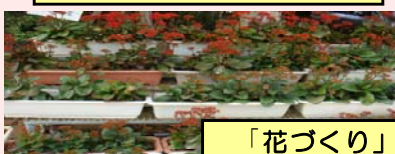
放課後子ども教室「若狭小ふれあい教室」



大正琴を練習しています



学習の時間



「花づくり」で作った花壇



ふれあい教室の指導者は、各団体が担っています。月・火・木曜日は若狭児童クラブ、水曜日が体育指導員・木曜日が地域民生委員、金曜日が地域支援ボランティアと分担しています。月・火・木曜日は、若狭児童クラブの専任指導員がふれあい教室の参加者と児童クラブの参加者とを同じプログラムで実施することで、放課後子ども教室と放課後児童クラブを同時に実施することが可能になりました。月曜日から金曜日までのプログラムには、「学習支援」「花づくり」「キンボール」「昔あそび」「大正琴」「フィールドゲーム」「ピオトープ」などがあります。